



れんこんを、食べよう。

広い大地で のびのび育ち
霞ヶ浦の恵みを受けた 自慢のれんこん
食べ方いろいろ おいしさいろいろ



JA水郷つくば 霞ヶ浦蓮根部会



れんこん食べて イイ笑顔!

れんこんを食べるとシャキシャキサクサク ココロがはずむ音があります
ココロがはずむと美味しい笑顔が飛び出して あなたのまわりも嬉しい笑顔
みんなの笑顔が見たいから 私たちは れんこんをつくっています

食卓から 人のしあわせを 考える
JA水郷つくば 蓮根本部会



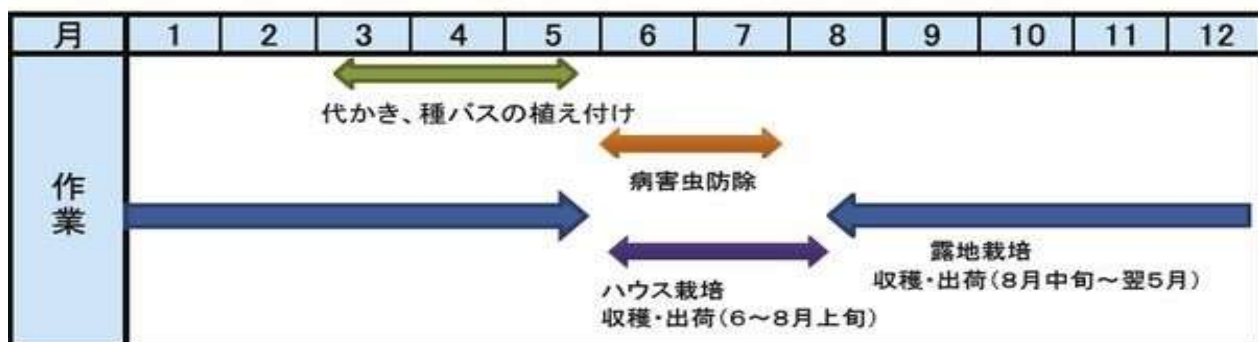
水郷つくば農業協同組合は、平成 31 年 (2019 年) に旧 JA 茨城かすみ、旧 JA 竜ヶ崎、旧 JA 土浦の 3 JA が合併して誕生しました。土浦市、龍ヶ崎市、牛久市、かすみがうら市、美浦村、阿見町、利根町の 4 市 2 町 1 村にまたがった広域農業協同組合です。茨城県の南部に位置し、北には筑波山、東には霞ヶ浦、西には牛久沼、南には利根川と、水と緑に恵まれた地域です。東京からは 45 ~ 70 km 圏内にあり、管内を常磐自動車道と圏央道が交差して走り、常磐線とあわせ交通の便にも非常に恵まれた地域です。



霞ヶ浦沿岸は JA 水郷つくばの特産品の一つ「れんこん」の一大生産地であり、霞ヶ浦湖岸地域は、アシなどが堆積した泥炭性埴土で、肥沃さと水温の高さがレンコン栽培に最適な環境をつくっていて、全国の生産量の 5 割以上を占め、日本一の生産量を誇ります。その多くが、土浦市やかすみがうら市、阿見町など JA 水郷つくば管内で生産されています。



れんこんの周年出荷を行っています。3月かられんこん田の代かきを始め、4~5月上旬に種バスの植え付け



資料：JA水郷つくば

を行います。6~7月は病害虫（主にアブラムシ）の防除を行い、地域によっては、フェロモントラップによるハスモンヨトウの共同防除も行っています。露地栽培の収穫・出荷は、8月中旬から翌年の5月まで、年末の12月がピークです。露地栽培の端境期である6~8月上旬は、ハウス栽培による収穫・出荷を行っています。



「水掘り」と呼ばれる機械で水をくみ上げ、ポンプの水圧でれんこんの泥を飛ばして人力で収穫をします。



JA 水郷つくばでは、日々の出荷物の検査、統一目揃会、栽培講習会など積極的に行い、高品質なれんこんを出荷するよう心掛けています。



出荷は、主に4キログラム詰め段ボールで行っています。11～4月の通常時は段ボールに鮮度保持フィルムを入れて出荷

し、気温が高い5月から10月は、氷を詰めて発泡ケースに入れて出荷しています。また、ハウスれんこんは全て2キログラムの発泡ケースで出荷しています。

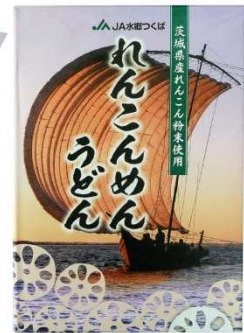
🍷 オリジナル商品 🍷

本物そっくりの形をしたれんこんサブレ♪



れんこんのと豚肉の入ったれんこんカレー

れんこん粉末を使用したれんこんめん
(乾麺) そばもあります



れんこんめん (半生) ざるうどん

れんこんを丸ごと乾燥させたれんこん粉末



問い合わせ先 水郷つくば農業協同組合 (JA 水郷つくば) 営農部れんこん課
〒300-0048 茨城県土浦市田中一丁目1番4号
TEL 029-823-7001 FAX 029-824-5011
E-mail: ja-sgt.renkonka@ja-ibaraki.jp